



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

いま地元漁業は

大津漁協で被災後の状況を聞く

共産党
市議団

日本共産党市議団は5月19日、大津漁業協同組合を訪ね、被災後の状況をうかがいました。組合事務所は現在、港わき「ポート大津」の仮事務所で業務をしています。



県漁連では、東電に対し5月18日、県全体で3月分として約4億2600万円の損害賠償請求を求めました。巻き網船の

損害が入ったことで請求額が大きくなったと思われる。底引き船は再開し、ヒラメやカレイを水揚げしています。例年この時期は底値だそうですが、原

発の風評被害の影響でさらに値が下がっています。操業が自粛されているコウナゴについては、仙台沖で産卵し、寒流に乗って3〜5月が常磐沖での最盛期です。その途中に原発があり、この影響を直接にうけたこととなります。今後も原発被害に對しては、県漁連を通じて毎月の損害賠償を請求していくとのことです。大津港と比べて被害が小さくかった平潟港では、この日、水揚げされたヒラメなどが競りにかけら



解体に着手



被災者入居

れて、活気を取り戻しつつあるようにも見えました。

日本共産党市議団は「今後とも漁業者が安心して、操業に従事できるように、県に助成を働きかけると同時に、東電に対して充



クレーンで持ち上げて、巻き網の確認作業。網は、幅200m、深さ150mあって、約1億数千万円します。操業には、この網が3つ必要になります。

復旧すすむ市立病院

市立総合病院は、震災時の応急体制から復旧しつつあります。病院本館の玄関部で損傷が大きかったものの、応急工事によって、予定より早く内科・救急外来と検査部分が使用可能となりました。

4月1日付で土井幹雄新院長が就任しています。現在、常勤医師（麻酔医含む）が11人。さらに非常勤医師および支援医師をくわえて診療をおこなっています。

分な補償を求めていきたい」としています。

内科、循環器内科、外科、婦人科（産科）、小児科、歯科口腔外科が毎日診療。このほか、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科が、曜日によっての診療になります。また、眼科は、6月10日まで毎週金曜日の当番4回の診療が予定されています。入院患者は新館で受け入れ、現在約40名。外来患者は日によって200〜400人です。

手をつなぐ育成会

「サポート手帳」スタート

北茨城市手をつなぐ育成会の第49回定期総会が5月19日、市民ふれあいセンターで開かれました。

今回は、鈴木金一郎会長みずから「これからの育成会活動についての問題提起」として講演があ



りました。そのなかで県の事業「サポート手帳」が紹介されました。この手帳は、障がい者の履歴を記録するもので、治療や療育、支援を受けるうえで有効とのこと。育成会が5年越しで取り組んできたもので、この3月に準備され、当市でも順次利用していきたいとのことでした。

市長選・市議補選

北茨城市長選および市議補選は5月29日告示、6月5日投票でおこなわれます。今のところ、市長選は2陣営、市議補選は5陣営（定数3）が出馬予定とされています。

一步一步けんめいに被災者支援と災害復旧

5月16日
発表分

- 全・半壊戸数 1153
- り災証明申請 申請 5477 証明書発送 4615 再調査依頼分も順次調査中
- 被災者向けの住宅は、207戸が用意され175戸が入居
- 損壊家屋(木造)の解体作業は、市内各地域を13区分し、順次着手
- 被災者向け相談総合窓口は市役所2階 これまでの相談数 1616人 2354件
- 老人福祉センター「ライト」が5月24日から再開
- 災害ボランティアは社会福祉協議会で受付 ※ 市HPで「災害・支援情報」「放射能情報」